

「KYOTO 地球環境の殿堂」国際会議・未来会議を開催！

毎年、地球環境の保全に多大な貢献をした方々を表彰してきた「KYOTO 地球環境の殿堂」。令和7（2025）年度は、大阪・関西万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」のもと、京都議定書発効20周年、また「KYOTO 地球環境の殿堂」創設15周年を記念し、「KYOTO 地球環境の殿堂」国際会議・未来会議を開催しました。

国内外の高校生、大学生が自然環境と京都文化との関係をテーマに府内各地で探究活動を行い（未来会議）、そこで得た学びを「未来への宣言」として世界に発信しました。加えて、歴代の殿堂入り者と若者等が「気候変動」や「生物・文化多様性」のテーマで議論等を行いました。

1 「KYOTO 地球環境の殿堂」未来会議（令和7（2025）年5月～8月）

国内外の高校生、大学生が、以下の3つのプロジェクトに分かれて探究しました。また、本活動から得た学びや気づきを踏まえ、世界にむけて「未来への宣言」を発信しました。

「未来への宣言」では、探究プロジェクトから得た学びや気づきを踏まえ、人と自然が共存・調和するより良い未来に向けた若者自身の決意やこれからの行動について発表しました。

【探究プロジェクト】

(1) 古来文学探究プロジェクト

日本独自の古来文学（枕草子や徒然草等）に触れ、当時の人間と文学に登場する動植物の関係性について探究。

(2) 伝統産業探究プロジェクト

天然塗料「漆」にスポットを当て、産地の現状や自然と人間の関係性（生態系）について探究。

(3) 森里海探究プロジェクト

持続可能な漁法である定置網漁業の体験等を通じて、資源循環の仕組み、また生態系保全の事例やその現状について探究。

写真1-3-18

古来文学探究プロジェクトにおける
フタバアオイ観察の様子



写真1-3-19

伝統産業探究プロジェクトにおける
工房見学の様子



写真1-3-20

森里海探究プロジェクトにおける
定置網漁業体験の様子



2 「KYOTO 地球環境の殿堂」国際会議・未来会議（令和7（2025）年9月20日（土））

当日は、約1,100人の方々に御来場いただき、若者による「未来への宣言」や歴代の殿堂入り者と若者等によるパネルディスカッションや、総合地球環境学研究所 所長の山極 壽一氏とクイズプレイヤー伊沢 拓司氏による特別対談など多彩なプログラムを通して、自然環境と京都文化の関係について考えていただく一日となりました。

写真1-3-21
未来への宣言の様子



写真1-3-22
特別対談の様子



写真1-3-23
パネルディスカッションの様子

